

S A A

正SAA 坂田 浩一
副SAA 石山 洋一・出雲路 大和・大塚 崇・根本 幸一
馬場 保・宮永 大輔

活動方針

会長運営方針に従い、明るい雰囲気の例会になるように努めます。

熊谷ロータリークラブの伝統と品格を感じられる例会運営に努めます。

事業計画

1. 品格と秩序を保ちつつ、会員相互の交流が楽しみになるような設営を目指します。
2. 来客・来訪者と会員にとって和やかな時間となることを目指します。
3. 会長、幹事、各委員長との連携を図ります。

クラブ奉仕委員会

委員長 小林 健郎
副委員長 田中 治男
委員 井埜 利博・大川 隆史・木島 一也・野澤 久夫
長谷川 貴春・溝田 義信

活動方針

本年度西山会長の方針の下、関係する各委員会の活動が円滑に行われるよう努力すると共に、魅力あふれる例会の開催等クラブ運営が充実するように努めます。

事業計画

1. クラブ奉仕に関連する各委員会の開催に協力します。
2. 魅力あふれる例会が開催できるよう支援します。
3. 新規会員の増強につながるよう、熊谷ロータリークラブの認知度を高めることに協力します。

職業分類・会員選考委員会

委員長 井埜 利博
副委員長 富岡 清
委員 飯島 賢二・福島 一也・吉田 嘉高・渡辺 実

活動方針

職業分類調査を行いバランスの取れた会員構成を目指し、未充填職業分類における新会員の発掘に努める。会員より推薦された方がロータリアンとして相応しいかどうかを判断して理事会に報告をする。

事業計画

1. 職業分類表の精査を行い、未充填の職業分類を公開する。
2. 会員増強委員会と連絡を密にし、会員数の増加に寄与する。
3. ロータリアンとしての社会的地位、人格、経済状況などを考慮、新会員の選考を行う。

会員増強委員会

委員長 長谷川 貴 春
副委員長 山 口 寿 人
委 員 新 井 隆・飯 塚 幸 一・菊 地 陽 一・松 浦 紀 一

活動方針

今年度会長運営方針の重点事項の1つに会員増強を挙げています。会員の増強はクラブの活性化並びに充実化を推進する言動力となっていきます。会員の皆様の御協力をいただきながら会員増強を進めていきます。

事業計画

1. 会員総数が100名を超える様、増強を目指します。
2. 女性会員の増強を積極的に図ります。
3. 職業分類・会員選考委員会と情報の共有化を図ります。
4. 各委員会に1名の入会候補者の推薦をお願いします。

ロータリー情報委員会

委員長 田 中 治 男
副委員長 小 林 肇
委 員 大 島 譲 二・田 中 哲 夫・前 嶋 修 身・松 本 光 弘

活動方針

新入会員に対して、早い時期にロータリークラブについて理解し慣れ親しんでもらう機会を設ける。
既存会員に対して、改めてロータリーについて学んでもらう。地域RIについての最新の情報の提供。

事業計画

1. 入会3年未満の会員を対象にしたオリエンテーション親睦会の実施
2. 既存会員へのRI、地区の最新情報の提供

出席推進委員会

委員長 木 島 一 也
副委員長 染 谷 政 示
委 員 今 井 徹 雄・岡 部 洋 一・曾 根 和 也・守 田 征 弘

活動方針

ロータリークラブは、出席をすることが基本です。先ず例会、そして委員会、地区大会、協議会、国際大会、IM等です。出席する事で友達も出来、情報交換になり、仕事にもつながって行くものです。

今年度五十幡ガバナーがとなえる「入って良かったロータリー」になると確信します。

事業計画

1. 例会出席100%を目指します。
(メーキャップを推奨します)
2. 他委員会と協力して、あらかじめ例会内容を詳細にメンバーに通知します。

公共イメージ委員会

委員長 溝田 義信
副委員長 田所 勤
委員 大澤 孝至・福島 雅也・松崎 由誉・美濃 昌輝

活動方針

例会および各委員会の活動やロータリーに関する様々な情報を発信することによって、会員に関心を促すようにしてまいります。

また、クラブ全体の活動を一般の人々に情報提供し、公共イメージの向上に努めます。

事業計画

1. 例会ごとに会報を作成し、的確で正確な情報を発信致します。
2. 例会の様子をデータで記録します。適宜、動画による情報発信を行います。
3. ロータリークラブの公共イメージ向上を図る手法を模索します。

親睦活動委員会

委員長 大川 隆史
副委員長 富田 満
委員 新井 清貴・太田 洋・黒田 小源治・谷田 雅彦
内藤 司・馬場 俊久・森田 光春・山屋 貴裕

活動方針

親睦とは、互いに親しみあい仲良くすることを意図します。このことは、正にロータリーの基本の精神であると考えます。当委員会は、会員相互の親睦の増進を計り、会の様々な事業や計画が楽しく円滑に推進しますよう協力してまいります。

事業計画

1. 誕生祝い
2. 結婚祝い
3. 納涼例会
4. 忘年家族会
5. 親睦旅行他
6. 引継ぎ例会

プログラム委員会

委員長 野澤 久夫
副委員長 金井 陽一郎
委員 大久保 和政・兼田 千鶴子・三角 哲也・村上 貴一

活動方針

西山会長が掲げる活動方針「ロータリーの歴史を知り、理解することにより、クラブライフをさらに充実させよう」に基づき、過去から未来へ、時代に即した例会プログラムを提供し、そして会員個々が楽しみ、出席したいと思える例会となるよう努めて参ります。

事業計画

1. 新入会員をよく知ってもらうために、イニシエーションスピーチを行います。
2. ロータリークラブの歴史を知るために先輩会員による卓話例会を実施します。
3. 地域や各業界の現状、そして未来を見据えた情報提供を行います。
4. 会員個々が楽しみ出席意欲を高められる例会を実施して参ります。

職業奉仕委員会

委員長 井上 浩
副委員長 上林 寛
委員 木村 諭 智・清水 晃・諏訪部 享 治・八木橋 宏 貴

活動方針

職業奉仕とは、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすることです。

様々な機会を通じて、会員各位に理解を深めながら右記の計画を実践してまいります。

事業計画

1. 「4つのテスト」の浸透を図る。
2. 移動例会の実施。

社会奉仕委員会

委員長 福島 良 浩
副委員長 西田 善 明
委員 井ノ瀬 喜 一・大石 聡 一・時田 芳 文・並木 謙 一

活動方針

現在の熊谷RCにおける社会奉仕事業の問題点や方向性を再確認し、今後のあり方を考える。

事業計画

1. 前年度より継続中の「モラルアップ熊谷」の掲載看板移設を推進する。
2. 「モラルアップ熊谷」標語掲載者の表彰。
3. 地区のアイバンク事業への協力。
4. 他の社会奉仕団体との連携を模索する。

ニコニコBOX委員会

委員長 重竹 淳 一
副委員長 中島 正義
委員 石垣 伸 明・高橋 大 介・前原 郷・山崎 哲 資

活動方針

ニコニコBOXの最終目的は、クラブ組織図にある通り、その篤志を社会奉仕に役立て社会を明るく豊かなものにすることに有ります。会員の生活の中におこる様々の出来事を元にした投稿を例会にて皆様に提供し会員の親睦を深め、クラブ全体の運営の一助に役立てることに務めます。

「親睦から奉仕へ」ロータリーの本質を具現化するのがこの委員会です。

事業計画

1. 皆様の投稿を例会内で必ず読み上げられるよう執行部と協議しそれに努めます。
2. クリスマス家族例会、引き継ぎ例会にて、ニコニコBOX特別賞を設けそれらを表彰します。
3. 他の委員会とも連絡を取り、社会奉仕事業その他クラブの奉仕事業に会員の篤志が運用されるよう働きかけ、それを報告します。

国際奉仕委員会

委員長 大谷 公一
副委員長 鯨井 隆行
委員 門倉 忠一郎・栗原 良太・平岡 和喜・亘 秀之

活動方針

2022年2月にロシアの軍事進攻で始まったウクライナ紛争は3年目となりました。2023年10月にハマスがイスラエル市民1200人を殺害し、240人を人質としてガザ地区に連れ去ってからのもの、イスラエル軍によるガザへの容赦ない攻撃が続いています。日本の周辺では中国と台湾の問題、北朝鮮からミサイル発射の威嚇と世界的に危険な状態が続いています。また、東京都内のみならず熊谷市内でも多くの外国人を見るようになり、「国際」を意識するのは当たり前時代になりました。ロータリーの国際奉仕とは国際理解、親善、平和を推進するための実践活動です。わがクラブから2570地区の国際奉仕委員会へは田中哲夫副委員長、鯨井隆行委員、新井清貴委員の3名が出向し、国際ロータリーが掲げる大きな事業の柱である、識字率向上と水と衛生の分野を中心に活動をしています。当委員会では、出向者と連携し情報を収集し、「熊谷クラブとして新しい国際奉仕活動を考える」をテーマとして本年度活動してまいります。

事業計画

1. ファイヤーサイドミーティングの開催
2. 新しい国際支援・援助活動の検討と実践
3. 熊谷市国際交流協会への協力

ロータリー財団委員会

委員長 原田 勲
副委員長 日向 美津江
委員 荻野 智・中澤 実・本塚 雄一郎・森田 康志

活動方針

ロータリー財団の使命は、以下のような活動を通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

1. 人々の健康状態を改善する
2. 質の高い教育を提供する
3. 環境保護に取り組む
4. 貧困をなくす

この崇高な使命を実現するためには、“意識”を変えることが大切です。ロータリー財団では、「世界でよいことをするための」基金として設立され、そのビジョンの実現の“活動”を行います。また、ロータリー財団は持続可能な変革を目指し、世界中でポジティブな影響をもたらすため、わかりやすさを目指し多くの会員の理解に努める活動を今年の方針とする。

事業計画

1. 会員に財団のプログラムの理解を深めるようにする。
2. 会員がロータリー財団への寄付を行うようにする。
3. 財団月間には財団プログラムへの参加を呼びかけ、促進をする。
4. 補助金事業について、研究する。
5. ロータリー財団奨学金を学校機関に啓蒙する。

米山記念奨学委員会

委員長 秋山 恵一
副委員長 田久保 眞理子
委員 藤間 憲一・福井 千秋・古山 祥道・松本 喜久子

活動方針

ロータリー米山記念奨学会の事業推進のために、会員の皆様へ事業の意義と活動理念を理解していただき、ご支援とご協力をお願いしていきます。

また、奨学生への学業支援を行うとともにクラブでの交流によりお互いの異文化の理解を深め、会員の皆様と支援活動を行います。

事業計画

1. 米山記念奨学生の受け入れ及び支援活動
2. ロータリー米山記念奨学事業への理解、寄付活動の推進

青少年奉仕委員会

委員長 柿沼 伸幸
副委員長 大澤 義則
委員 岡安 哲也・加藤 公教・合田 裕章

活動方針

未来を担う青少年の育成は、ロータリアンの責務であります。青少年を取巻く環境の変化に適応し、地域や世界で活躍できる人材を育成できますように、当クラブとして支援と協力を行ってまいります。

青少年が夢や希望を持って健やかに育つように、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

事業計画

1. 熊谷ロータリークラブ杯大会（少年野球大会「河野杯」）の主催
2. インターアクトクラブの支援
3. ライラ（青少年指導者育成プログラム）のPR

戦略計画委員会

委員長 松崎 邦夫
副委員長 田中 治男
委員 井上 浩・大川 隆史・大谷 公一・小林 健郎
坂田 浩一・田野 隆広・野澤 久夫・長谷川 貴春
福島 良浩・前嶋 修身

活動方針

2023 - 2024 年度西山委員会のアンケートを基に、熊谷ロータリークラブが益々魅力あるクラブであり続けるために、ビジョン(案)を検討する。なぜならば、魅力あるクラブには新会員が増えるからである。

事業計画

ビジョン(案)検討。現状行っているクラブの調査、他団体の奉仕活動の調査をしたい。ビジョン(案)の検討もしたい。